

千代川流下能力の訂正について

平成19年1月25日

国土交通省 鳥取河川国道事務所

原案に記載の25.6k地点流下能力は $466\text{m}^3/\text{s}$ であり過小評価



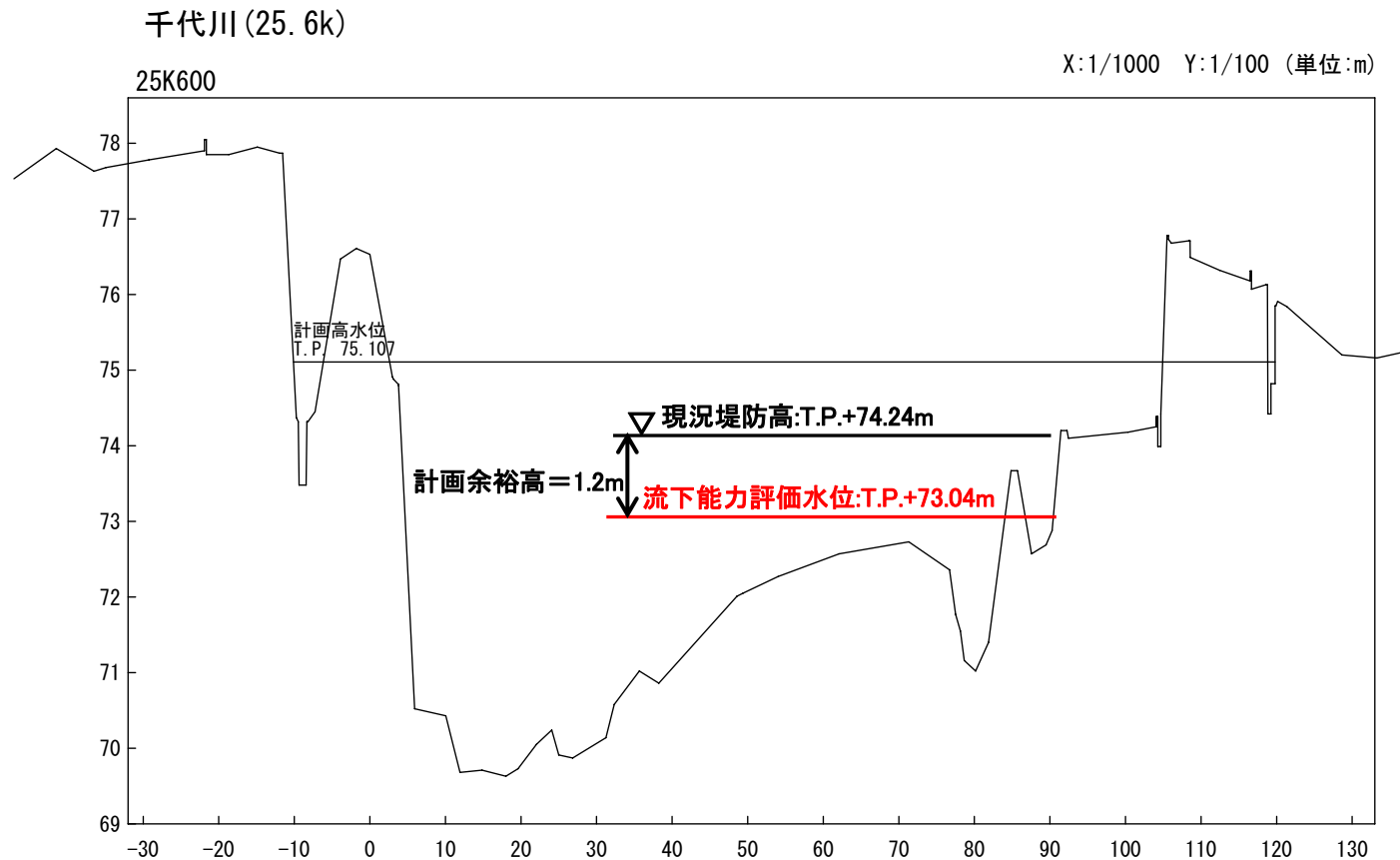
しかし、実際は掘り込み河道であり、しかも背後への氾濫の懸念はない。



計画高水位で評価した場合の流下能力は $1,350\text{m}^3/\text{s} > 1,200\text{m}^3/\text{s}$ (戦後最大流量)

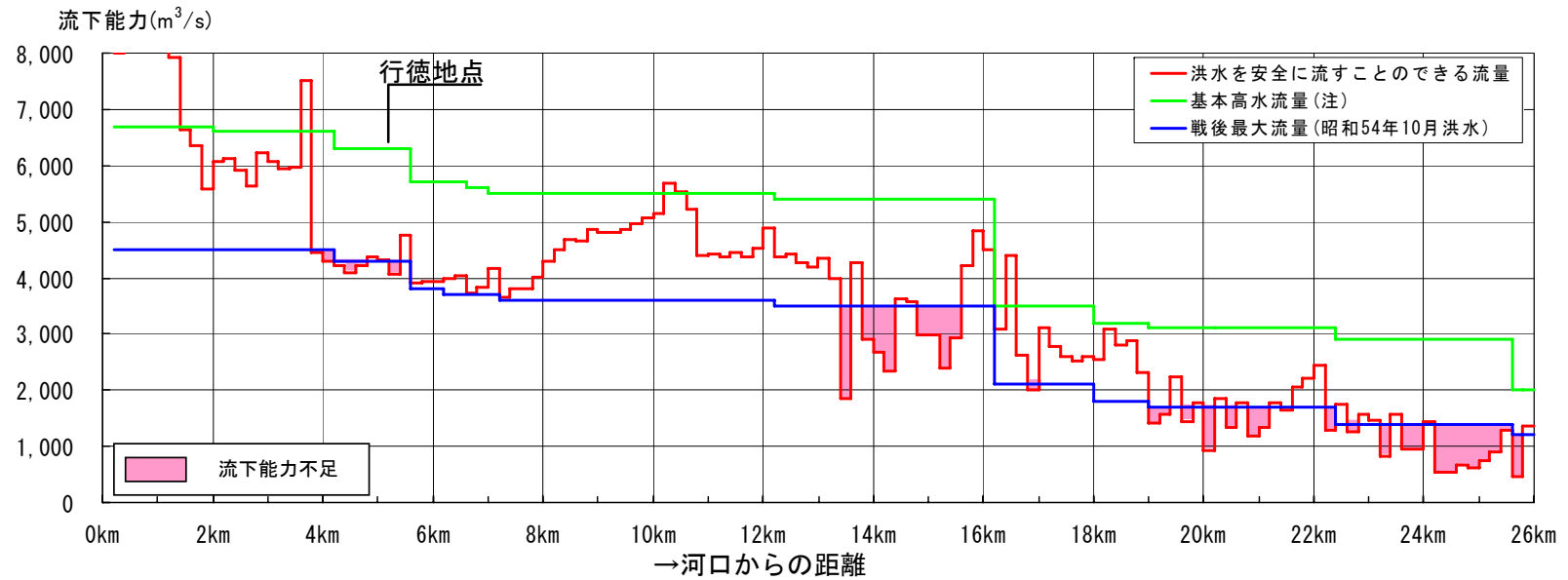


したがって、今後20年間の整備メニューには入れない。
(次回原案の流下能力図を修正する。)

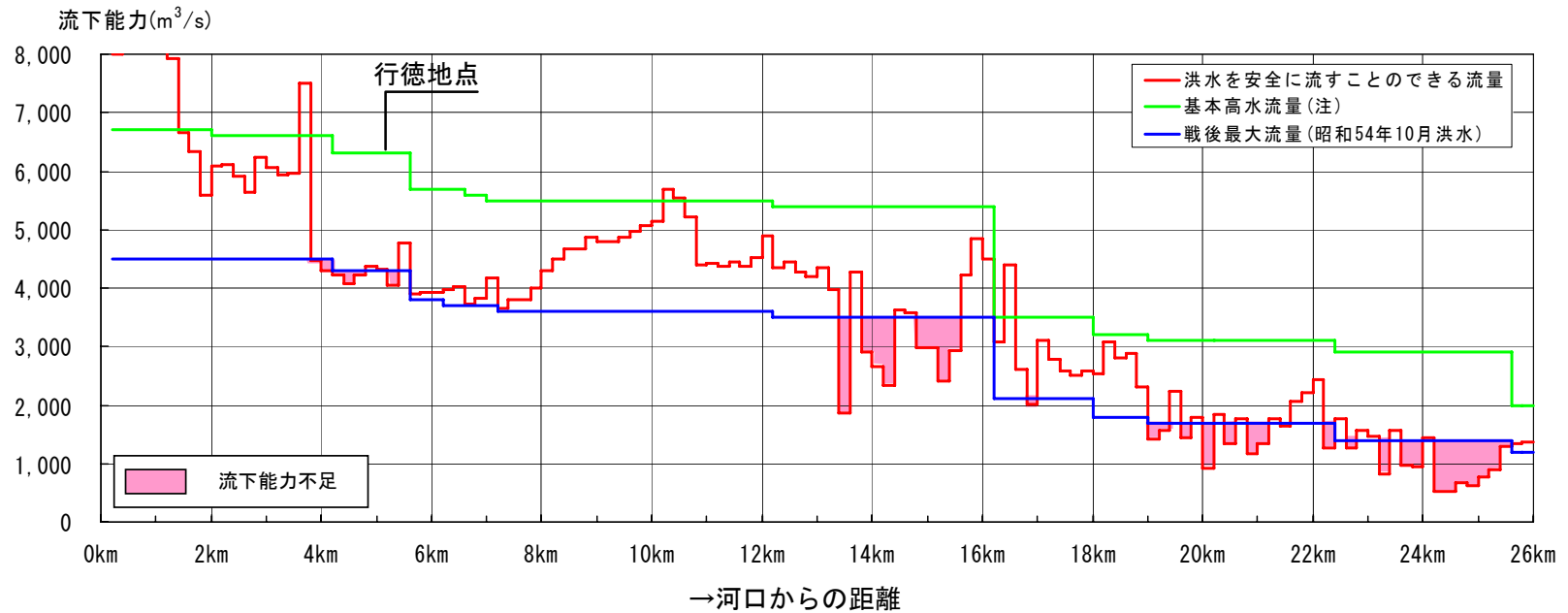


原案 p.8の千代川流下能力図の修正

【修正前】

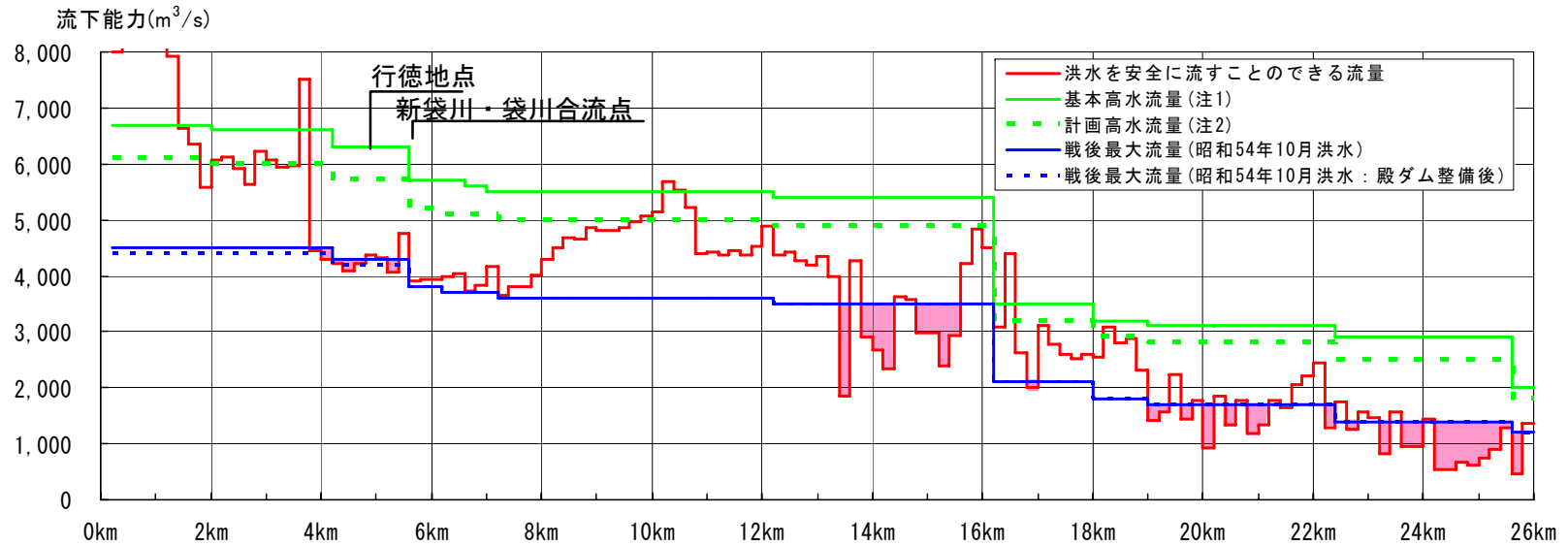


【修正後】



原案 p.27の千代川流下能力図の修正

【修正前】



【修正後】

